

## 秘密保護法は廃案にすることを求める意見書

政府は10月15日、「秘密保護法」案を提出し、今臨時国会中に成立させようとしている。

この法律は、国民の目と耳、口をふさぎ、国民の知る権利、言論・表現の自由を脅かし、日本国憲法の基本理念を根底から変えてしまう時代錯誤の悪法である。

国会議員、地方議員の活動や一般国民の生活まで厳しく制限される内容を含みます。戦後、国民の努力で築き上げてきた国民主権の流れを覆す法律である。

よって嵐山町議会は、秘密保護法案は廃案にするよう強く求めます。  
以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成25年12月4日

埼玉県比企郡嵐山町議会議長 青 柳 賢 治

衆議院議長	様
参議院議長	様
内閣総理大臣	様
法務大臣	様
総務大臣	様